

1～4年次後期・選択

1単位・30時間

【概要・目的】

本科目は、各ライフステージの栄養が理解でき、適切な食事の実践により自身の健康管理ができる。病態別の食事療法の方針を理解し治療食の調理演習を行うことにより、病態に応じた食事療法の支援ができることを目指す。

【到達目標】

- 1) 自己の食事の適正エネルギー、栄養量と食事の構成が理解できる。
 - 2) 病態別の食事療法の実際とポイントが理解できる。
-

【内容・スケジュール】

- 1) ～2) 演習についてのガイダンス
 - 3) ～4) 自己の適正量を算出 / 妊産婦の食事・離乳食（調理演習）
 - 5) ～6) エネルギーコントロール食（調理演習）
 - 7) ～8) タンパクコントロール食・減塩のポイント（調理演習）
 - 9) ～10) 脂質コントロール食（調理演習）
 - 11) ～12) 一般食：分がゆ食・常食（調理演習）
 - 13) ～14) 摂食・嚥下調整食（形状を知る・演習）
 - 15) 演習のまとめ
-

【評価】

出席状況および参加態度など（20%）
課題提出・演習レポート（80%）

【教科書】

無し 講義、演習用プリントを配布

【推薦参考図書】

系統看護学講座 専門基礎分野「栄養学」医学書院
日本糖尿病学会編 「糖尿病食事療法のための食品交換表」文光堂
食品成分表 八訂「食品成分表」女子栄養大学出版部

【その他】

- ・「食の科学」の履修者に限る。
- ・設備及び教育効果等の見地から、1班12名の隔週ごとの2班24名に限る。